

日本製鉄が化学工業・ボイラ用鋼管で環境ラベルプログラム「SuMPO EPD」認証を取得

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、カーボンニュートラルを推進するお客様のニーズに応えるため、化学工業・ボイラ用鋼管製品において一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）のSuMPO環境ラベルプログラムに基づく「SuMPO EPD」※¹（旧名称：エコリーフ）の認証を新たに5件※²取得しました。

日本製鉄の化学工業・ボイラ用鋼管は、石油精製、石油化学および電力・ガスのエネルギー分野において、過酷な環境下でも耐食性・耐熱性・低温特性に優れた素材として広く採用されてきました。

また、近年では原子力発電や高圧水素用途等の脱炭素、新エネルギーの分野でのお客様のニーズが高まってきており、社会におけるCO₂排出量削減に寄与する日本製鉄の高機能製品・ソリューション技術NSCarbolex® Solution※³の構成製品も複数提供しています。

SuMPO EPDは、LCA（ライフサイクルアセスメント）手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品のライフサイクル全体を考えた環境情報を定量的に開示するEPD認証制度の一つです。当該認証制度により、お客様は化学工業・ボイラ用鋼管製品のライフサイクルでの環境負荷を客観的に評価することが可能となり、今後注目される調達物品におけるCO₂排出量表示への動き等への対応も容易となります。さらに、NSCarbolex Solutionの活用と合わせてサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けた取り組みをより一層強化することができます。

世界でカーボンニュートラルに向けた動きが加速している中、お客様からは、使用する素材までも含めた評価を求められる分野が増えています。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求するとともに、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した、リサイクル性に極めて優れ、環境に優しいサステナブルな素材である鉄鋼製品の環境性能開示に今後も積極的に取り組んでいきます。

※¹：SuMPO環境ラベルプログラム SuMPO EPD(旧名称：エコリーフ)

国際規格ISO 14025に準拠した「タイプⅢ環境宣言」で、いわゆるEPD (Environmental Product Declaration) の1つ。EPDは、宣言された製品の資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの定量的な環境情報を示しており、SuMPO EPDは（一社）サステナブル経営推進機構が管理運営しています。（2024年4月に「エコリーフ」から「SuMPO EPD」へ名称変更）



※2：今回、SuMPO EPDを取得した化学工業・ボイラ用鋼管 5件

JR-AW-24045E ボイラ・熱交換器用溶接鋼管※4

JR-AW-24046E 化学工業・ボイラ用高クロム鋼シームレス鋼管※5

JR-AW-24047E 化学工業・ボイラ用低合金鋼シームレス鋼管※5

JR-BO-24007E 化学工業・ボイラ用高Ni系・Ni基合金シームレス管※6

JR-BO-24008E 化学工業・ボイラ用ステンレス鋼シームレス鋼管※6

※3：NSCarbolex Solutionの概要につきましては、以下のURLよりご参照ください。

化学工業・ボイラ用鋼管では「SUPER304H®」「Ni基合金管」「HRX19®」「HYDLIQUID®」「NEXAGE® 347Alpha」「YUS®2120、YUS®2351（省合金型二相鋼）」を提供しています。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/solution/>



※4：ボイラ・熱交換器用溶接鋼管の概要につきましては、以下のURLよりご参照ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/pipe/list/04.html>

※5：化学工業・ボイラ用高クロム鋼および低合金鋼シームレス鋼管の概要につきましては、以下のURLよりご参照ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/pipe/list/05.html>

※6：化学工業・ボイラ用高Ni系・Ni基合金シームレス管およびステンレス鋼シームレス鋼管の概要につきましては、以下のURLよりご参照ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/pipe/list/12.html>

以 上

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>